

森林のリアルとポテンシャル ～いろんな視点から地域の森林を捉えよう～



■長野麻子さん プロフィール

愛知県安城市生まれ。愛知県立岡崎高校卒、東京大学文学部フランス文学科卒、1994年に農林水産省に入省。2018年から3年間林野庁木材利用課長として「ウッド・チェンジ」を各地で叫び続ける。豊かな森を次代につなぐことを勝手に天命と感じ、2022年6月に早期退職。

同年8月に日本の森を盛り上げる株式会社モリアゲ (<https://morige.jp>) を設立し、森林業コンサルタントとして全国の森をモリアゲ中。

■講演

愛媛の森をみんなで モリアゲよう!

長野麻子さん
(株式会社モリアゲ代表)

■事例報告

伐採から製材、建築へ 山から生み出す新たな流れ

森本英章さん
(杣-woods(ソマウッズ) 代表、木こり)

■意見交換・交流

お申し込み

Web申し込みフォームにご記入・送信していただか、お名前・年齢、住所、所属、電話番号をe-mailで送信してください。

【主催/宛先】NPO法人 森からつづく道
(愛媛県松山市鉄砲町1-7)
e-mail:info@morimichi.org
※愛媛県「三浦保」愛基金助成事業



Web申し込み
フォーム

【日時】令和6年12月8日(日)
13:00~16:00

【会場】えひめ森林公園 研修室
(愛媛県伊予市上三谷)

森林は、豊富な地域資源として活用に関心が高まるとともに、保水力やCO₂吸収機能など、その多面的機能にも期待が寄せられています。

生産業としては、森林の育成・管理・伐採など川上から、材の加工や活用などの川下まで多くの事業があり、また、生物多様性の保全や環境教育、観光のフィールドとしての活用も、持続可能な地域づくりには必要となる視点です。

森林のポテンシャルを発揮させるためには、多様な関係者が相互に知っておきたい現状があります。

今回は、全国各地で森林の有効活用を支援されている長野麻子さんを講師にお迎えし、情報交換・意見交換を行います。

【申込締切】12月5日(木)

【定員】25名(先着順)

【対象】森林保全、森林資源の活用に関心のある方、森林をフィールドに自然観察やエコツアーや開催したり、参加したりされている方

※参加無料

※個人情報は適正に管理し、本事業に関するご連絡のみに使用します。